

## 【戸塚区】令和元年第 3 回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	令和元年 9 月 4 日 13 時 55 分 ～ 16 時 05 分
場 所	戸塚区総合庁舎 9 階特別会議室
出席者	<p>【座 長】 伏見幸枝議員</p> <p>【議 員：4 名】 岩崎ひろし議員、中島光徳議員、坂本勝司議員、山浦英太議員、（欠席：鈴木太郎議員）</p> <p>【戸塚区：23 名】 吉泉英紀区長、鈴木裕子副区長、里見正宏福祉保健センター長、内田沢子福祉保健センター担当部長、中島高志土木事務所長、佐藤重義戸塚消防署長 ほか関係職員</p>
議 題	平成 30 年度個性ある区づくり推進費戸塚区決算状況等
発言の 要 旨	<p>岩崎議員：昨日の大雨について。戸塚区の被害状況と関係機関の対応を 教えてほしい。</p> <p>吉泉区長：18 時 56 分の大雨洪水警報の発令に伴い、区の災害対策本部を 設置、21 時 10 分に発表された横浜市の土砂災害警戒情報を受け、戸塚 区では 22 時に 4 か所の避難所を開設した。実際に避難をした区民はお らず、0 時 45 分の避難勧告解除に伴い、全ての避難所を閉鎖した。 被害状況については平戸上矢部地区の住家被害 3 件、矢部町のアンダ ーパスの一時冠水等を確認している。アンダーパスにおいては、19 時 15 分から 19 時 47 分までの間、通行止めになったと関係機関から情報 が入っている。</p> <p>卯都木総務課長：即時避難勧告区域に対し、避難勧告を出した時点で戸 塚区では雨がやんでいたが、磯子区、金沢区等で引き続き雨が降って いたため、土砂災害警戒情報が発令された。そのため、戸塚区では避 難所に実際避難した人がいなかったと考える。本部の体制は最大時に</p>

30人規模で対応し、午前3時45分に本部を廃止した。被害状況については、幸い人的被害はなかったが、その他被害として区内数か所でマンホールから水があふれたとの通報があり、警察で対応している。

岩崎議員：即時避難勧告区域の対象世帯へ行った周知方法を聞きたい。また、区内で大きな被害がなかったものの、大きな騒ぎになった箇所がいくつかあり、戸塚町においても柏尾川の水位が一気に上がった。避難勧告が出ている対象地域以外にも、区が独自に判断をする必要があると思う。実情について聞きたい。

卯都木総務課長：即時避難勧告区域への周知は市のホームページ及び危機管理室からのエリアメールで案内している。また、区内における即時避難勧告対象区域の約180世帯に対しては、緊急時情報伝達システムへの登録をお願いしており、登録世帯へはシステムによるお知らせをしている。

避難勧告における区の独自判断の必要性については、普段から関係機関と連携し、川の水位についても環境創造局や横浜治水事務所等と連絡をとりながら動向をつかんでいる中で、危険度が高まってきた際は状況に応じて対応を図っている。昨日は、アンダーパスの冠水状況から、一時通行止めをする判断に至った。

岩崎議員：戸塚区の風水害時は、過去の水害をふまえて柏尾川に念頭を置き、近隣住民の不安をフォローしてほしい。避難勧告の周知については現行手段のほか、広報車の活用を含めて、より強化するべきだ。

卯都木総務課長：今後も区民が安全安心に過ごせるよう、対応していきたい。また、即時避難勧告対象区域の世帯に行ったアンケートでも、過去の風水害時における状況把握の手段として、広報車が有効であることは認識している。今後も、必要な情報を必要な方に届けるため、広報車の活用も含め、様々なできうる対応をしていきたい。

岩崎議員：15ページ「時代に対応した戸塚駅周辺における交通アクセス改善事業」について。区民の関心が高い問題なので、道路局任せにす

べきでない。現状、区民から多く寄せられる要望に対し、問題解決までに時間がかかっている。大きな改修には時間がかかるとしても、エレベーターまで誘導する音声案内など、すぐに改善できる問題には、区として積極的に取り組んでほしい。

吉泉区長：通勤、通学時間帯の戸塚駅東口・西口の混雑状況をはじめ、多くの課題があると認識している。根本的な部分は、道路局をはじめ、関係局と連携して対応する必要があるが、区においても短期間で解決できる部分については、対応していきたい。

米満区政推進課長：直近で東口ラピス3前の段差解消等、できるものから実施している。引き続き、区としても責任を持って、改善を進めていきたい。

中島議員：災害時において、消防、土木、警察等の関係機関とどのように情報共有を図っているのか。

卯都木総務課長：総務局の危機管理室とはファックスでやりとりをし、他の関係機関とは主に電話で情報共有している。環境創造局や横浜治水事務所等が管理する河川の水位状況についてはホームページで情報収集したのち、必要に応じて電話確認をしている。

中島議員：関係機関との情報共有を敏速に行える体制づくりをするとともに、過去の事例を教訓に強いまちづくりをしてほしい。

戸塚駅周辺の課題について、雨の日は特に混乱している。相次ぐ大規模マンションの建設に伴う送迎用バスの増加が渋滞、混乱を招く一つの要因となっている。また、戸塚のまちづくりの大きな課題として、企業が移転するとマンションが建設される傾向がある。27ページ「区民に身近な公聴・相談事業」の区長の事業所訪問などを通じ、課題解決に向けてコミュニケーションを図ってほしい。

吉泉区長：事業所訪問を通じ、企業の地域へ対する強い思いを受けて、心強く思っている。引き続き、経済の活性化、周辺のにぎわいや商店

街の活性化に向けてお力添えをお願いしていきたい。

中島議員：28 ページ「時代に対応した戸塚駅周辺における交通アクセス改善事業」について、昨年度実施した交通量の実態調査等に基づく今後の対応策について教えてほしい。

米満区政推進課長：現在、道路局や警察と協議中だが、送迎のバスや一般車による駅周辺の渋滞等への影響を解消するための方法を社会実験のような形を通じて見出すことを考えている。

中島議員：戸塚区役所 1 階の第 2 交通広場の利用率が高くないように感じる。併せてロータリーから駅の地下改札に通じるルートへの認知度も低い。課題解決のために正確な情報やデータをもとにしながら、現状のルールに固執しすぎず、利用しやすい環境にすることも改善方法の一つだと思う。

マンション防災について、地域防災拠点とマンションの連携を想定した訓練を今年度実施できるか教えてほしい。その場合、マンション防災講座を通じて実施結果の広報をしてほしい。

卯都木総務課長：現在、地域防災拠点とマンションとのマッチングを行っている。10 月 27 日にマンション防災講座の応用編を予定しているが、それまでに地域防災拠点とマンションの連携を想定した訓練が実施できれば、報告と訓練の勧奨をしたい。

中島議員：実際の発災時において、区内 35 か所の防災拠点に来る想定人数は受け入れ可能人数を超えている。区内の県立高校 3 校を生かして地域防災拠点を増やすことが大事だと思うが、その点についてどう考えるか。

卯都木総務課長：現状、危機管理室と県の教育委員会との間で決めた大枠はあるものの、区内の高校と細目を決めるに至っていない。地域防災拠点の開設・運営は地域住民による相互扶助によって行うことが基本であるが、行政職員等の支援も必要不可欠であり、人員確保などの

課題がある。今年度については県立高校と細目を決めつつ、地域の皆様の力を借りながら、人的な協力を得るための交渉を進めていきたい。

中島議員：仮に県立高校3校を拠点として構えた場合の体制や利便性についても視野に入れ、ぜひ実現してほしい。

坂本議員：昨日の大雨について。エリアメールが3、4回届いた一方で消防団の出動要請がなかった。避難勧告が出た際に、消防団への連絡を行ったかどうか、教えてほしい。

三善消防副所長：昨日は“1号配備”の警戒体制であったことから、消防団の立ち上げはしていない。連絡体制までとしている。

坂本議員：エリアメールで避難勧告が出されている一方で、消防団が動いてない状況に危険の度合いがつかめず、心配になった。内水氾濫が起きている状況においても消防団の活用は有効だと思う。氾濫箇所の確認とともに、有事の対応や消防団との連携について見直してほしい。また、広報関係においても消防団の活用をしてほしい。

佐藤消防署長：貴重な意見として参考にしていきたい。消防団については、“1号配備”の警戒体制であっても状況に応じて消防団長と相談し、消防団の動員をかけて態勢を整えたい。早めに判断してパトロール等も消防団や区と調整しながら安全につなげていきたい。

坂本議員：友好交流都市の北海道下川町へ区長は訪問したか。

吉泉区長：今年の夏に「とつかの森協定」の更新をしたこともあり、近く訪問する予定である。

坂本議員：戸塚にとって非常に大切なパートナーだと思うので、職員の人材育成を含め、計画的な取り組み、積極的な交流をしてほしい。

坂本議員：ウナシーについて、熱中症対策におけるウナシーの着ぐるみ

の更新はしているのか。

岩崎地域振興課長：着ぐるみは現状3体の用意があり、順次、乾燥とクリーニングをして使用している。貸出時に長時間入らないことや適度な休息をとるように注意喚起している。夏の屋内であれば10分程度、空調が効いた屋内であっても30分くらいを目途に交代しながらの使用をお願いしている。

坂本議員：冷房機能の強化はしているのか。

岩崎地域振興課長：冷房機能を別に用意している。

坂本議員：戸塚駅東口のバスターミナルについて、エレベーターが活用されず、高齢者が時間をかけて階段を降りているのを見かける。降車場所の配置を考え直すなど、高齢者やベビーカーを押している人を含め、垂直方向の移動がしやすいように調整してほしい。

米満区政推進課長：降車場所から通じる階段は長く、不便な状況は把握している。現在、神奈川中央交通のバスの一部を西口に移す、または明治学院大学行きのバスを違うところから発着できないかなどの調整をしている。降車場所についても今より利便性の高い形にしていきたい。

坂本議員：バスの乗客の利便性・安全性を第一に事業者と話をしてほしい。

西口ではマンションの送迎バスの関係について、非常に問題だと捉えている。バスの停車場所の再編をしっかりと検討してもらい、より良い駅前にしてほしい。案内板の設置を含めた改善により、区役所1階の第二交通広場は稼働率が上がっていると思うが、利用者にとって一番良い配置をいま一度考えてほしい。

山浦議員：戸塚区の児童家庭支援センターについて、周知をどのようにしているのか。また、区役所の相談窓口から児童家庭支援センターの

利用までにどのくらいの期間を要しているのか教えてほしい。

飯田こども家庭支援課長：児童家庭支援センターについては、相談いただいた際に案内等をしているところだが、利用までにどの程度時間を要しているのかは、後ほど回答する。

⇒「1件当たり平均19日間」（後日、質問者に情報提供済み）

山浦議員：相談者が実際に児童家庭支援センターに辿りつくまで、あまりにも時間がかかっていると現場から聞いているので、確認したい。また、一時保護される子どもたちが増えている中で、未然に防ぐことが重要だと思う。8ページ「子育て応援事業」のプレママ、プレパパを対象とした両親教室で児童虐待の防止の視点も取り入れるなど、継続的な支援が必要だと思うが、区の見解を聞きたい。

飯田こども家庭支援課長：両親教室においては、まずは妊娠・子育てを心配なくやっていけることを目的に実施している。その後の支援としては、1歳までの乳児と両親を対象とした赤ちゃん教室を通じて、育児不安に寄り添い、保育園等でも育児相談の中で両親の不安解消に向けた取り組みを実施している。引き続き、様々な子育て支援の機会を通じて、児童虐待防止に取り組みたい。

山浦議員：ぜひ取組を強化してほしい。

15ページ「時代に対応した戸塚駅周辺における交通アクセス改善事業」について、県との連携及び民間事業者に対しての協力要請、指導の在り方について区のを聞きたい。

米満区政推進課長：区としてもバス事業者に対して区民の皆様のご意見を伝える責任があると認識している。バス事業者とのやりとりの多い道路局と連携して、しっかり交渉していきたい。

山浦議員：今後も区民の意見を聞きながら、民間事業者に協力要請をしてほしい。市の耐震改修促進計画に関連して、戸塚区における昭和56

年以前に建設された耐震化が未改修の物件数について教えてほしい。

卯都木総務課長：把握していない。

山浦議員：耐震化の事業も進めてほしい。また、防災ベッド、耐震シェルター、耐震化を含む減災強化事業の予算に対し、制度の利用が横ばいである。民間事業者と協力し、活用を促す必要があると思うが、その点について考えを聞きたい。

卯都木総務課長：指摘のとおり、危機管理室が募集した家具の転倒防止器材の無料設置の制度にしても、利用者が計上予算を下回っている。区としても防災・減災に関する取り組みや各種会議のなかで総務局や建築局等と施策のPRをしていきたい。

山浦議員：ぜひ強化してほしい。

伏見座長：6ページ「交通安全・放置自転車対策事業」について、子供、高齢者を対象とした交通安全教室の内容について教えてほしい。

岩崎地域振興課長：交通安全キャンペーンの一環で春、夏、秋、年末の年4回実施している。春は新入学児の安全対策、夏休み前には非行防止の呼びかけ、年末には飲酒運転根絶など時期に合った注意喚起をしている。

伏見座長：交通安全に関して、母親の自転車の乗り方に懸念がある。前後に子どもを乗せ、さらにはおんぶ、携帯電話を片手にした危険な運転が見受けられる。学校など子供に対する啓発の機会はあるが、子育て世代に対する啓発の機会がない。実地でなくとも啓発のようなものを実施してほしい。

岩崎地域振興課長：10月から自転車保険が義務化される機会も捉え、キャンペーン等を通じて広く啓発していきたい。



伏見座長：子育てについて、産後うつが懸念される母親については病院から区役所に連絡があると思うが、1か月健診時において、1か月間の生活の様子や状況がなかなか把握できないと病院から聞いている。情報伝達の方法を含め、考えを聞きたい。

飯田こども家庭支援課長：産後うつに限らず、心配な母親がいれば情報提供を受け、乳幼児健診や電話を通じて保健師による指導を行っている。産院にも連絡する体制になっている。

伏見座長：出産後はどの母親でも不安定になり得るなかで、産後の様子に心配がある母親については、病院もとても気にかけている。連絡を密にとり、1か月健診時に産院も母親の状況が把握できるようにしてほしい。

飯田こども家庭支援課長：連絡会における情報共有や育児支援相談員を通じて育児支援をしていきたい。

伏見座長：戸塚駅周辺の課題について、エレベーターの利用がしやすいところをバスの降車専用場所としてはどうか。小さいロータリーで課題はあるが、一案として検討してほしい。

中島議員：来年の個性ある区づくり推進費の方針に関連して、戸塚は宿場町であり歴史を大切にすゝ雰囲気があるが、たとえば各家庭に残されている昔の写真や書物などの歴史物も、自己での保存・管理が難しく捨てられている現状がある。図書館で受け入れができないか。

長谷川図書館長：中央図書館では資料をデジタル化して残す取り組みをしている。戸塚図書館にも地域住民から写真の提供をしたいとの申し入れがあるが、保存方法はこれから検討していかなければいけないと思っている。今後も提供の相談があれば話を伺いたい。

中島議員：次の世代に歴史を残すうえで、非常に大事な事業になる。来年度の予算編成において、中央図書館と連携するなどして区として次

	<p>世代に歴史的資料を残す取組をしてほしい。区長の考えを聞きたい。</p> <p>吉泉区長：関係者と相談しながら、できることから進めていきたい。</p>
備 考	